

教務部通信

令和6年4月30日

中標津高等学校 教務部

●成績処理について

今回の通信は成績処理に関する連絡です。高校で学ぶ教科や科目は多くの種類がありますが、中標津高校の成績の付けかたについて、すべての科目で統一している部分があります。まず『①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度』の3つの観点で A・B・C の3段階での評価をつけ、その ABC の数に応じて5段階の評価・評定をつけることにしています。

評価・評定	ABC 評価の内訳
5	AAA、AAB
4	AAC、ABB
3	ABC、BBB、ACC、BBC
2	BCC
1	CCC

ABC 評価から5段階評価への換算は右の表の通りで、例えば次のような評価になります。

教科・『科目名』	知・技	思・判・表	態度	5段階評価（年度末は評定）
国語『言語文化』	B	B	A	A1つ、B2つなので 評価「4」
数学『数学 A』	A	B	A	A2つ、B1つなので 評価「5」
音楽『音楽 I』	C	B	B	B2つ、C1つなので 評価「3」

3観点それぞれの ABC 評価は同等の価値としており、例えば『知識・技能』の A は他の2観点の A より高評価にしている」などはありません。なお、評定（年度末の評価）が「1」になる科目が1つでもあると、原級留置（留年）となります。

ABC 評価の基準は、各教科で様々となっております。ただし、『主体的に取り組む態度』については、C の評価がつくのは、その科目に取り組む姿勢に問題がある場合のみになります。具体的にいえば 学習に取り組まない、提出すべき課題を提出しない、授業に参加しない、授業中に睡眠、テストを受けない…など、その科目に対する努力を放棄しているような状況で C 評価になります。逆に言えば、やるべきことをしっかりと行っていれば、態度で C 評価になることはありません。

また、多くの科目で行われる『単元テスト』は、評価を判断する大きな材料となります。教務部通信 No.1 でもお伝えしましたが、単元テストの予定は少なくとも1週間前までには教科担任から周知されますが、基本的には授業で扱う単元の終了時期くらいにテストをすることが多く、日常からの学習が大切といえます。中標津高校では成績処理期間というものがあり、この期間で教員が成績処理業務を行います。その後に配付されるものについて、以下の表の予定になっています。

※○は配付予定

	期間（予定）	成績推移表	出欠状況集計表	成績通知表
前期中間処理期間	6月10～14日	○	○	1, 2年× 3年○
前期期末処理期間	9月2～6日	○	×	1, 2年○ 3年○
後期中間処理期間	11月25～29日	○	○	1, 2年× 3年×
学年末処理期間	2月26～3月10日	1, 2年○ 3年×	×	1, 2年○ 3年○

成績推移表…単元テストの素点と順位が記載されている表。点数確認もこの表で行う。

出欠状況集計表…授業の欠課時数が記載されている表

成績通知表…各科目の評価、授業の欠課時数が記載されている表

各成績処理期間後に『成績推移表』というものが配られ、生徒の皆さんにはこの表で、それまでに行われた単元テストの点数が間違いなく記録されているか確認してもらいます。もし、点数に間違いがあった場合、訂正入力を教科担任が行いますが、その際には点数が書かれた答案用紙を持って、教科担任に確認してもらうことになります。ですので、単元テストは、各処理期間後の点数確認までは保管しておいてください。 ※教科によっては答案用紙をスキャナでデータ保管することもあります。

また、3年生は前期中間・前期期末後の処理で、『仮評定』がつきます。この仮評定の数値で、進路活動を行いますので、3年生は特に前期の成績は重要といえるでしょう。

よい学習習慣を身につけ、様々な科目に一生懸命取り組み、学びを積み重ねてください。